

2018年画廊企画PART4
三輪途道 展 - 社の番猫 -

2018年6月9日[土] - 17日[日]
 am10:30-pm7:00 (火曜休廊・最終日 pm5:00)

2000年に初めて三輪途道氏(当時は上原三千代)の個展を画廊翠戀で開催し皆様にご紹介してから、2012年以來6年振りとなる個展を、この度開催いたします。

三輪氏は、木心乾漆、寄木による木造彫刻と言われる1200年以上前から日本古来の木造彫刻として伝承され、その多くは仏像彫刻として制作されてきた彫塑技術に、独自の彩色を施し今日の現代作品としてあらたな造形を生み出してきました。

約10年ほど前から視力の低下という難題と共に様々な障害によって、その造形作品はそれまでとはいささか異なる表情を付帯することになりましたが、三輪氏が芸大大学院時代に模刻した「東大寺俊乘房重源上人像」をご覧になった東大寺関係者が「姿形のみならず、それに宿る魂まで写し得た像」と言わしめたその心眼こそが、三輪の造形力、表現力の真骨頂であり、近年制作されてきた視力の限界の中でこそ観い得た、その先にある何か、魂の宿る造形作品をそこに観ることが出来るのでは・・・と期待するのです。

画廊主・梅津宏規

三輪途道 略歴

1966 群馬県に生まれる/'89 東京造形大学造形学部美術学科Ⅱ類(彫刻)卒業/'91 東京造形大学造形学部美術科研究生修了/'94 東京藝術大学大学院美術研究科保存修復技術専攻修了

[主なパブリックな個展] 1998 保科美術館(群馬県伊香保町) / 「リアルなココローぬかづけなココロ 上原三千代展」高崎市美術館(高崎市) / '05 「上原三千代展ー晝のしめりけ」発電所美術館(富山県入善町)

[パブリックコレクション] アーツ前橋、高崎市美術館、北海道立近代美術館、ベネッセアートサイト直島、和歌山県立医科大学、東大寺、日光山輪王寺、高崎市箕郷町獅子舞保存会、上田第一ホテル



群馬県前橋市文京町1-47-1 〒371-0801
 Tel 027-223-6311(代) Fax 027-221-5909
 E-mail art@suiran.com
 URL <http://www.suiran.com/>



目指すは大間のまぐる 28.5×18.5×62cm 檜、漆、白土、彩色 2017

photo/koki miwa

MIWA Michiyo
Exposition

社の番猫

9(sat)~17(sun) Juin.2018

